



いつもと変わらず電車が走る風景

市内では大正15年に初めて駅が開業



▲私たちの生活に欠かすことができない鉄道は、環境にやさしく安全性も高い交通機関です。大和橋から花見川方面を撮影。

市内に初めて鉄道が走ったのは今から93年前。大正15年、京成大和田駅が開業しました。昭和2年に発行の「大和田町案内図」には、当時は大和田から押上間が56分、運賃は56銭。上下線とも15分間隔で運行したと書かれています。

昭和31年には八千代台駅、43年には勝田台駅が開業し、沿線を中心にした住宅団地の整備が進みました。この頃から、人口も急増し都心に通勤する人たちの重要な交通として、本市の発展に深く関わってきました。今では世界の旅行者を都内に運ぶ足としても利用されるようになり、時代とともに役割は多様化してきましたが、人々を乗せて電車が走る風景には、いつもと変わらない生活があります。

今号の紙面から

- ◆心豊かで生きがいのある毎日を総合生涯学習プラザで始めよう…2
- ◆市民活動団体支援金交付制度支援金交付額が決定しました…3
- ◆守ろう。里山の自然と動植物…4
- ◆ちばシティポイントを開始…5

八千代台駅西口・北本通りで本の交換市 BOOK STREET 秋の本祭り2019

市内最大の本の交換市。本を3冊持つてくると好きな1冊と交換できます。そのほか、歩行者天国で音楽の演奏などのパフォーマンスや素敵な飲食店、雑貨屋なども多数出店します。

▼日時 11月3日(祝)午前10時～午後3時。雨天中止 ▼場所 八千代台北本通り(八千代台駅西口) ▼問い合わせ 八千代台まちづくり合同会社 ☎(401)6419 (都市計画課まちづくり推進室)

和洋女子大学×やちよ蕎麦の会 期間限定で3種類のコラボメニューが

栄養学を学ぶ和洋女子大学の学生と、市内のそば店有志で作る「やちよ蕎麦の会」が3つの新メニューを共同開発しました。味・彩り・食材・栄養バランスを考えたメニューを期間限定・数量限定で販売します。詳しくはやちよ蕎麦の会×八千代商工会議所コラボ企画ホームページをご覧ください。

▼メニュー/販売期間 ①祝令和そば/10月21日(月)～30日(水)、②ソバボナラ/10月31日(木)～11月9日(土)、③コクとまろやか豆乳ごまみそ蕎麦/11月10日(日)～19日(火) ▼実施店舗 市内5店舗 ▼問い合わせ 八千代産学官協同ネットワーク運営協議会事務局(八千代商工会議所内) ☎(483)1771 (商工観光課)

シンポジウムや看護師体験も やちよ健康フェスタ2019

東京女子医科大学附属八千代医療センターで、市民の皆さんの健康促進と地域交流を図るため「やちよ健康フェスタ2019」を開催します。天候・諸事情により内容を変更・中止する場合があります。

▼日時 10月27日(日)午前10時～午後3時 ▼場所 東京女子医科大学附属八千代医療センター ▼内容 ①地域包括ケア構想・医療連携に関するシンポジウム「地域包括ケアシステムを支えるそれぞれの役割と今後の展望」 外来棟4階大会議室で午前10時30分～午後1時。先着120人、②医師体験コース・看護師体験コース 本物の手術室で手術支援ロボット「ダヴィンチ」を使った模擬手術や、日頃の看護ケアを体験できます。中学生・高校生が対象です。各コース先着10人。申し込み受け付けは10月15日(火)から。事前に申し込みを。詳しくは同センターホームページか、実行委員会 ☎(458)7146 ☒testa@twmu.ac.jpへお問い合わせください。③口腔がん・オーラルフレイル啓発展示と無料口腔がん検診。その他、医師・看護師・薬剤師による各種企画・展示、院内見学ツアー(当日受付)も行います。(健康福祉課)